

メディカル チェック



内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！
泌尿器科の腫瘍の話〜その84

新型コロナウイルス感染と、癌の健診について③

今回は、新型コロナウイルス感染と癌に関するお話の3回目です。

1回目では、癌患者がこのウイルスに感染した際の死亡率について、癌が早期発見・治療され、病状が安定し健康に生活しているなら、心血管・呼吸器系疾患、糖尿病患者の感染死亡率と変わり

がないこと、癌患者のうち、高齢者、喫煙者、併存疾患が2つ以上、進行癌患者において死亡リスクが高まることをお話ししました。

2回目では、感染流行期における、癌を含めた病気の早期発見に極めて重要な『健診・ドック』の受診について述べまし

たが、今回、さらに詳しくお話しします。
今年の1月22日、日本健診総合医学会から、完全に健診を受けるための『健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について』が発表されました。

受診者の2週間の身体状態（風邪症状、発熱、嗅・味覚障害、渡航歴、職場や生活環境での感染者と

の接触の有無など）を事前に把握するとともに、検査当日の身体状況を再確認した上で健診を実施することは、これまで同様、必須です。しかし、無症状の感染者も多く存在すると言われる現在、検温や問診だけでは感染リスクを十分に低下させられないことから、この

答申が出されたのです。その対策の柱は2つ。
1つ目は皆さんご存知のとおり、新型コロナウイルス飛沫感染防止のための、『3密』回避です。加えて、マスクの常時着用、皆さんと職員との会話を最低限にすること、飛沫が想定される健診項目、例えば呼吸機能や喀痰検査などを見合わせることも重要です。

2つ目は、空気感染防止対策です。新型コロナウイルス飛沫の一部は、乾燥してウイルスを含む微小粒子となり、長時間、空气中に浮遊します。これは、マスク着用やアクリル板遮蔽でも防ぎにくいので、感染リスクの低減には、空気が停滞しないよう、効率的な換気を実施することが重要です。

当院では、外来にて数十分で出来る『ワンコイン・ツーコイン健診』は実施中ですが、昨年11月頃からの市内クラスター発生以降、『ドック』を一時休止しています。
病気の早期発見に極めて重要なこの『ドック』を、安全に安心して受診して頂けるよう、これらの対策をさらに整備・徹底し、市中感染とクラスター発生状況を確認しながら、3月末からご予約を受け付け、4月からの再開を予定しています。詳しくは、お電話（☎0166-26-6411）でお問い合わせください！

北彩都病院 泌尿器科
 徳光 正行
 医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医
 北彩都病院 泌尿器科
 電話 0166-26-6411
 永山腎臓泌尿器科
 電話 0166-465500